

海のおもいで創造プロジェクト（海と日本2020）

実施報告書

—目次—

1.概要

2.総括

3.成果内容

- ① 充実した海体験を継続して提供できる仕組みを構築
- ② 子どもたちの海のおもいでを創造
- ③ 学童内での海プログラムを実現

4.メディア露出

1. 概要

- **目的** ひとりでも多くの子供達に楽しい海の思い出をつくってもらうこと。
- **背景**
 - 海とともに文化を育んできた日本において、海に行ったことがない子どもが増え続けている。
 - その多くは、海に連れていく側の**保護者の負担の大きさ**に起因している。
 - 子供時代に海の思い出がないと、大人になっても海を訪れない、**負の連鎖**が生まれている。⇒**本プロジェクトは子供を取りまくこうした状況に楔を打つための取組み。**
- **スキーム** 子供が保護者に依存することなく安全に楽しく海を体験できる新しい仕組みを構築
 - **受け入れ体制**
ビーチ**管理事業者と連携**し、プログラムを構築。
 - **集客**
学童**保育事業者と連携**し、学童単位で参加。
- **取組み** 小学生の夏休み期間中に、海でのプログラムを実施。
30人×20日程、計600人に参加してもらい、海の思い出をつくってもらう。

2. 総括

コロナの影響で夏休みが短縮され、プログラム開催可能日程が限られる中で、20の学童保育事業者（総教室数156）と連携し、330人の子ども達（実態上の最大人数）に対して充実した体験プログラムを提供。子ども達の海の楽しいおもいでを創造することができた。

アンケート上も高評価を得ること（「海に対する気持ちが変わった100%」、「楽しかった100%」※母数330人）ができており、また、海が苦手だった子どもが1日のプログラムを通して海を好きになった事例も多く見られるなど、多くの子ども達に価値観を大きく変えるような体験を届けることができたと考えている。なお、多くの反響を得たことで、すべての参加学童が継続参加意向を表明している。

更に、上記を実現するために、ライフセーバーなどの受入事業者や学童保育機関との信頼関係の構築、精度の高い海プログラムの開発と実践環境の手配など、一連の取組み内容を仕組み化を実現。来年度にもつながるプロジェクトの基盤を確立した。

実現を可能とした理由

以下を主たる理由と考えている。

① 共感を得た取組みテーマ

保護者の事情による海離れの深刻化、それによる子どもの成長機会の減少等の課題に対するソリューションとして、「保護者なしで、海に行き、海を経験し、海を楽しむための仕組みづくりを行う」というテーマについて、各学童施設や受入事業者等から強い共感を得ることができた。

② 適正なスキーム構築による、学童としての海イベント実施の壁を突破

事故リスクや人的・経済的負荷、保護者への説得ハードルも高い海でのイベントは、どの学童も敬遠しており実施経験がなかった。

こうした状況下においても安心して連携・参加してもらえるよう、スキームと取組み内容を開発、整理。何度も足を運び、その取組みの意義と安全性を担保する仕組みなどについて、説明・提案の機会を設け、初の取組み参画につき同意を得た。

③ 信頼関係維持と実現に向けた粘り強い対応

コロナの中でも、プロジェクト実現を前提に実施可能な方法等を模索し、受入先ビーチや学童側との話し合いを続けた。これによって、日々、各事業者の状況に応じて柔軟な対応を図ることで、信頼関係を維持。困難な状況下でも各事業者と同じ方向を向くことができ、実施まで進めることができた。

④ 屋内でのイベントも実施

社会情勢等の点から海に行くことが難しくなった学童事業者に対しては、屋内での海クラフトプログラム等を提案するなど、臨機応変に対応し、海のおもいで創造を実現した。

今後の展望

さらに多くの子供達に、より楽しく充実した海の思い出をつくってもらうため、連携先の学童を拡大、プログラム内容の強化（コロナ対応・雨天時対応・事前事後学習）を実践していく。また、複数学童合同での海イベント実現など、学童間の繋がりを強化することで子供たちにとってより貴重な機会も提供していきたい。

3. 成果内容

➤ 以下の成果を上げることができた。

- ① **充実した海体験を継続して提供できる仕組みを構築**
- ② **子どもたちが海のおもいでをつくることができた**
- ③ **学童内での海プログラムを実現**

① 充実した海体験を継続して提供できる仕組みを構築

(1) 学童保育事業者との関係性を構築

➤ 総教室数156、約20の学童保育事業者にプロジェクトに賛同いただくことができた。

- ・初期説明段階は、海の体験に対して安全面を懸念して、ネガティブな反応を示す事業者もあったが、何度もやりとりを重ね、想いに共感してもらうことができた。
- ・コロナの状況でも信頼関係が構築できていたため、実施に向けて相談を重ねながら動くことができた。
- ・この夏は参加キャンセルとなってしまった学童もあったが、来年度はぜひ参加したいとの意向をいただいている。

【賛同いただいた学童一覧】



明光キッズ



特定非営利活動法人すこやかサポート横浜

大豆戸すこやか学童クラブ

学童保育施設 晴れ間



キンダリーインターナショナル Kindery International



株式会社日本保育サービス JP HOLDINGS GROUP



(2) 集客から受入体制までの一連のスキームを構築。

- ・学童事業者との関係性を構築し、夏休み期間の学童イベントとして、海のプログラムに参加してもらおうスキームを構築できた。
- ・ビーチ管理事業者と連携し、1日約20人規模で安全に楽しく海を体験できる受入体制を構築できた。

スキームイメージ



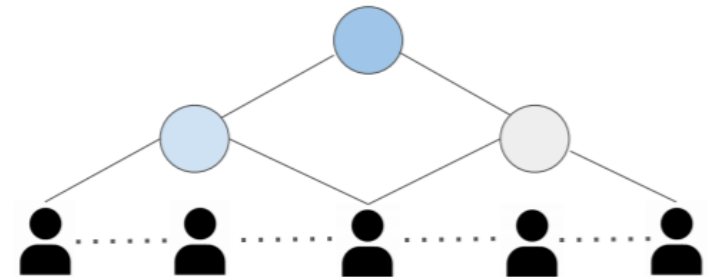
(3) 楽しいだけでなく立体的なプログラム内容を設計。

- ・海のアクティビティを通して楽しい思い出をつくってもらうことはもちろん、海と生活との繋がりや海の危険、ライフセーバーの仕事内容などについても学べる内容とした。

■ 1日のスケジュールイメージ

- 9:30～ 到着、着替え
- 10:00～ 開会式（海プロ説明など）
- 10:15～ 準備運動、ボディ説明
- 10:30～ 水と一緒にいるウイズ（かけっこ、浮く）
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 海クイズ
- 13:15～ ニッパーボード
- 14:30～ アウトプット制作
- 15:30 終了

■ 安全管理体制



- ・子ども5名につきスタッフ1名配置
- ・子ども的人数、プログラム進捗に応じてスタッフ配置を変動
- ・プログラム参加のメンバーは全員笛を携帯、緊急時の合図に使用
- ・救急箱、最寄りの医療機関連絡先、携帯電話、レスキューチューブ
- ・鎌倉ライフガードとの連携（看護師常駐）

■ プログラム内容への感想（学童事業者アンケートより抜粋）

- ・今回のイベントで初めて海に来る子、海が苦手な子も、海に慣れ親しんでいく姿が見られた。
- ・学童だけでは実現できない、ライフセーバーの安全管理体制があったので、安心して参加できた。
- ・来年も継続して参加したい。

－3.成果内容－ ① 充実した海体験を継続して提供できる仕組みを構築

楽しいだけでなく、海とのつながりを感じられるように工夫。挨拶などでメリハリをつけることも意識。

現地集合・着替え



- ・子どもたちは各学童に集合後、まとめてバスで鎌倉に到着。
- ・拠点となる鎌倉マリナーで着替えを済ませ、ビーチへ。

開会式



- ・紙芝居形式で、企画の趣旨や、海と自分たちの生活の繋がり、海プロについての説明を実施。
- ・ライフセーバーさんへ挨拶。

準備運動



- ・ライフセーバー林さんと、海で遊ぶ前の約束を。(笛がなったらすぐに海から上がること、バディ制度、熱中症対策など)
- ・準備体操をすていよいよ海へ！

午前中は水に慣れるためのプログラムを実施

① 水中かけっこ、波くぐり



・水の中での走り方、波のくぐり方を学びながら、水に慣れていく。

② 浮いてみよう



・まずは体だけで浮く練習。
・後半はライフジャケットを着て皆で輪になるなど

お昼休憩



【ビーチでお弁当】



【砂浜で自由時間】



－3.成果内容－ ① 充実した海体験を継続して提供できる仕組みを構築

午後は学び要素の海クイズからスタート。ニッパーボードで波乗り体験やリレーなど、思いっきり海を満喫！

海クイズ



クイズ内容：海の危険、ライフセーバーのお仕事、海の環境問題など

③ニッパーボード



・チーム対抗パドリングリレーで、子どもたちのテンションはMAXに！

アウトプット作成



・海のおもいでを記録。

閉会式



・記念のバッジを贈呈。

② 子どもたちの海のおもいでを創造

多くの子どもたちに**海の思い出をつくってもらおうという目的を達成**することができた。

➤ 鎌倉での海イベント12回、学童内での海の生き物クラフトイベント6回を実施。28教室、約300人が参加

■ 海のおもいでをつくろう！ @鎌倉材木座

日程	学童名	参加児童数
8月2日（日）	天才キッズクラブ	10
8月3日（月）	フューチャーテーブル	20
8月4日（火）	学童保育施設晴れ間	16
8月5日（水）	明光キッズ（大泉学園、光が丘、平和台駅前）	9
8月6日（木）	キンダリーインターナショナル（勝どき、明石）	13
8月7日（金）	明光キッズ（石神井公園、練馬）	19
8月12日（水）	フューチャーテーブル	21
8月17日（月）	明光キッズ（葛西）、JSmileKids（世田谷希望ヶ丘）、京急キッズファン（平和島）	15
8月18日（火）	NPOアフタースクール（聖心女子学院）	21
8月19日（水）	学童保育施設晴れ間	18
8月20日（木）	キンダリーインターナショナル（勝どき、明石、豊洲）	11
8月21日（金）	NPOアフタースクール（湘南学園、自由学園）	19
全12日程	合計参加人数	192

■ 海のおもいでをつくろう！ @学童施設

日程	学童名	参加児童数
8月11日（火）	大豆戸すこやかキッズ	17
8月12日（水）	コサイエアフタースクール	23
8月17日（月）	明光キッズ	12
8月18日（火）	HirakuKids大井町	5
8月21日（金）	ココファンキッズ八王子	22
8月21日（金）	HirakuKids大井町	5
全6日程	合計参加人数	84

※コロナの影響で海イベントへの参加が難しくなってしまった学童に向けて、学童内で海に触れられるクラフト体験を実施。

➤ 海に初めて来る子どもや、海にニガテ意識がある子どもたちも参加していたが、1日のプログラムを通して、海に慣れ、親しみを持ち、また来たい！と笑顔になっていた。海嫌いのまま成長する可能性のあった子どもの人生を大きく変えるような**貴重な体験を届けられた。**

■ 子どもたちのアンケート結果 楽しかった 98% 海に対する気持ちが変わった 100%

■子どもたちの感想（アンケートより抜粋）

海と人にはつながりがあり、それは自分たちの生活に深く関わっているということを知った。
（晴れ間 7歳）

海と人とのつながりを知って、海は人々の生活に欠かせないものだを知った。
（自由学園アフタースクール10歳）

もともとは海が少しこわかったけれど、今日で考えが変わりました。
（ジョアニースクール 9歳）

ライフセーバーさんがいろいろなことを教えてくれたから楽しかった。（明光キッズ 7歳）

ニッパードに最初は怖くて興味がなかったけど、乗ってみればとつてもたのしかった。
波に乗っていくニッパードが面白かった！
海がもっと好きになりました。（フューチャー7歳）

本物の海は迫力があってすごかった。
キラキラできれいだったこと、波がすごいこと、海にまたいきたいことを話したい。（フューチャー9歳）

浮くのは最初は無理だと思っていました。
でもライフセーバーの人たちが優しく教えてくれたのでできました。お風呂でもチャレンジしようかな。
（晴れ間 10歳）

コロナでどこにも行けなかったけど、海に入って満喫できた。
（湘南学園アフタースクール 11歳）

■学童担当者の感想（アンケートより抜粋）

- **海に行ったことのない子も多く、今回のイベントで初めて海に入るという子もいました。海を体験できるイベントなどを探していたところ、今回のプロジェクトへの参加を打診され、その日に参加の決断をしました。**しかも、海のお勉強やライフジャケットのつけ方など、海体験には欠かせない講義までしていただき、楽しさだけではない部分を知ってもらうこともでき、大変貴重な体験を子供たちにさせることが出来ました。子供たちの普段とは違う笑顔が忘れられません。(学童保育施設晴れ間 林さま)
- 小学生の多感な時期に、海への親しみと楽しさ、危険さなどを知り、体験できるプログラムを提供いただきありがとうございます。**短時間で子どもたちが水に慣れ親しんでいく姿を見られて、嬉しかったです。**引き続き海の豊かさや自然環境のことなど取り組みを続けていただけると嬉しいです。(明光キッズ 渡邊さま)
- 子どもたちに貴重な体験をさせてもらえました。**学童で何度か海のイベントを実施したいという声があったのですが、安全の面からできなかつたので、とてもありがたかったです。当日も安心して子どもたちの笑顔が見れました。最初は海を怖がっていた子も、ライフセーバーの方々の声掛けで、ボードに乗れるようにまでなっていて感動しました。**明るい声掛けやハイタッチなど、子どもたちのやる気に繋がっていたと思います。ありがとうございました。(キンダリーインターナショナル 黒羽根さま)
- ライフガードの方々がわかりやすく、楽しく海のおそびを教えてくださいましたので、どの子もとてもイキイキと楽しんでいました。**「海はニガテ」と言っていた女の子も、途中から積極的にチャレンジして「帰りたくない～！！」と言っていました。**いこーよの方々やライフガードの皆様のおかげで、安全に海を満喫できた1日でした。ありがとうございます。(NPOアフタースクール 島村さま)

■ 苦手克服事例



友達に誘われて来てみたけど、やっぱり海は怖いな...

①

海が苦手なで、最初は不安げな表情。ライフセーバーと一緒に、水に慣れるプログラムがスタート。



海、めっちゃ楽しかった!!

②



徐々に慣れてきたようで、ニッパボードにも果敢に挑戦! プログラムが終わる頃には、とてもいい表情に。

③

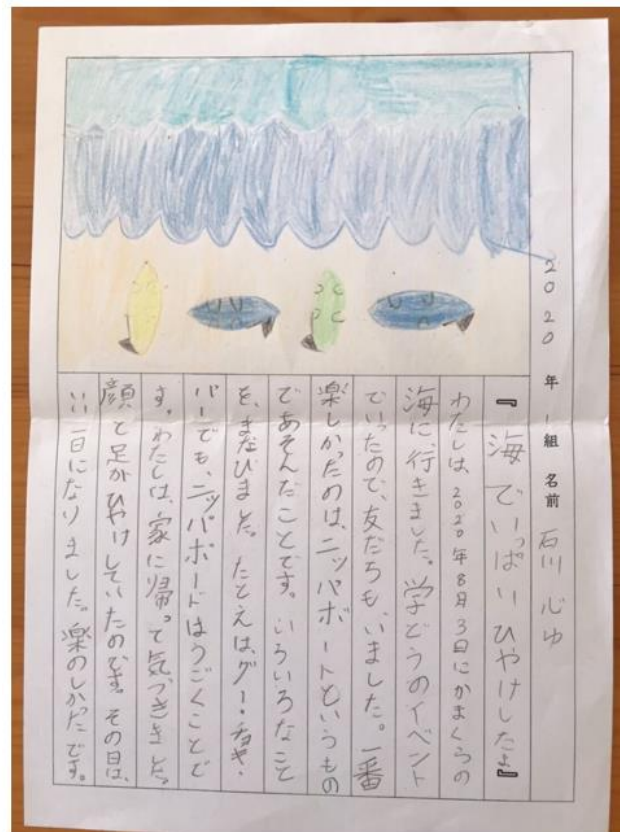
徐々に慣れてきたようで、ニッパボードにも果敢に挑戦! プログラムが終わる頃には、とてもいい表情に。



海、めっちゃ楽しかった!!

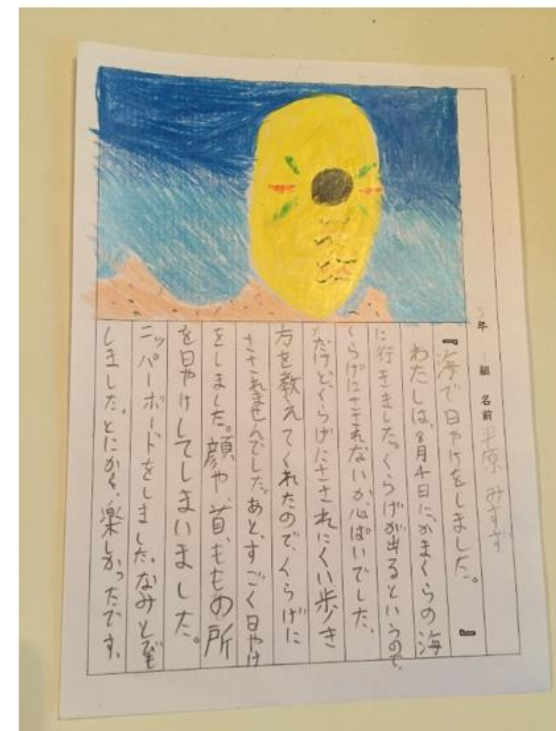
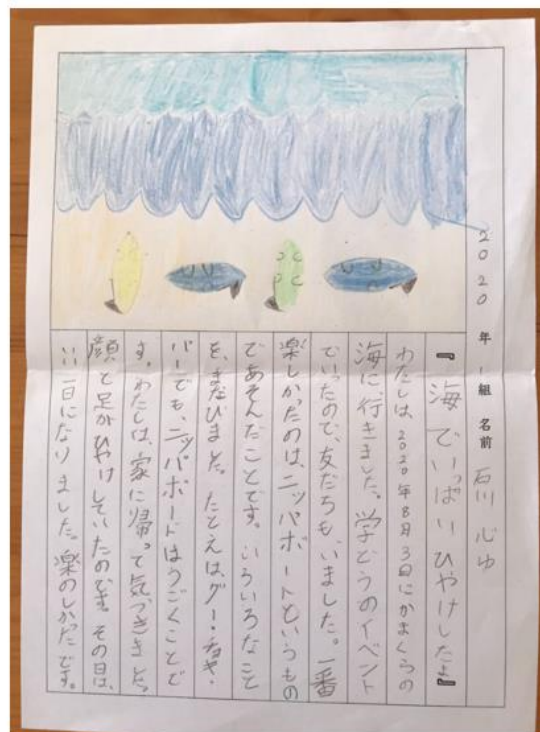
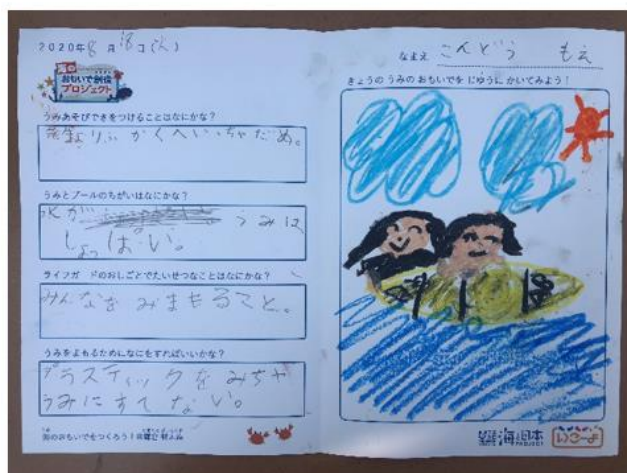
④

価値観を変える体験を届けられた。



家に帰ってから自主的に描いてくれた絵日記

■アウトプット



－3.成果内容－ ②子どもたちの海のおもいでを創造

■各日程の集合写真

①8月3日 フューチャーテーブル ②8月4日 晴れ間



③8月5日 明光キッズ (大泉学園、光が丘、平和台)



④8月6日 キングダリーインターナショナル



⑤8月7日 明光キッズ (石神井公園、練馬)



⑥8月12日 フューチャーテーブル



⑦8月17日 明光キッズ (葛西、世田谷希望ヶ丘、平和島)



⑧8月18日 NPOアフタースクール (聖心女子学院)



⑨8月19日 晴れ間



⑩8月20日 キングダリーインターナショナル



⑪8月21日 NPOアフタースクール (湘南学園、自由学園)



■ 体験の様子



③ 学童施設での海プログラムを実現

- コロナの影響で海イベントへの参加が難しくなってしまった学童に向けて、**学童内で海に触れられるプログラムを設計**。
- 複数のプログラムを用意し、各施設のご都合に合わせて選定してもらえる仕組みで実施。
- 海の神様になって、海をつくろう！をテーマとしたクラフトプログラムなど、**学童にしながらも海に興味を持つきっかけを提供**することができた。

海の生き物クラフト体験

図鑑を見ながら色粘土で海の生き物づくり



気象予報士のお仕事体験

海のお仕事図鑑とコラボ



海の危険生物紹介

海のものえの映像を提供いただいた



釣り体験

サカナバツカとコラボ



■ クラフトプログラム詳細

海の神様になって、「海」をつくろう！

もし、海の神様になれたとしたら、どんな海をつくれますか？専用の黒板をキャンバスにして、色粘土をつかって自由に海を表現しましょう。海の生き物・海藻・地形などを組み合わせてひとつの作品にまとめていきます。

[使うモノ] 黒板（キャンバス）・チョーク・色粘土・磁石・貝殻など

[約 束 事] 生き物を作るときは、なるべく図鑑を参考にします。作るために意識して観察するため、普段は見えない部分まで認識するきっかけになります。

[実施手順]

1. テーマ決め（どんな海にしたいか、その海にはどんな生き物がいるのかテーマを話し合います。）
2. 役割分担（つくるものや順番など、皆で役割分担します。）
3. 装飾する（貝殻などをつかってフレームも装飾します。）
4. 完成作品を皆で確認する（どんな海になったのか、皆で確認してみます。）
5. とりまとめ（皆で作ったような未来の海にしていくために必要なことなどを再確認します。）

－3.成果内容－ ③ 学童施設での海プログラムを実現

海のカラフトプログラムの流れ

海との繋がリクイズ



海の問題を自分ごととして考えるきっかけとなる内容

テーマ決め



どんな海にしたいか、その海にはどんな生き物がいるのか話し合う

制作



図鑑を見ながら、紙粘土で生き物作り

装飾



貝殻でフォトフレームを飾り付け。それぞれ作った生き物を黒板に並べる。

まとめ



皆で考えたテーマの海が完成！



どんな作品になったのか皆で確認。未来の海を守るため必要なことは何か？

■子どもたちの感想（アンケートより抜粋）

知らなかった生き物を知ったことが楽しかった。海に行ったときに魚を探してみたくなった！粘土で作ったことで想像しやすくなった。（学研ココファン 12歳）

海にゴミを捨てちゃだめってことがわかった。大人になったら食べれなくなる魚があるってびっくりした。（大豆戸すこやか 7歳）

どんな魚がいるか図鑑でも知って、それをさらに作ったから楽しかったです。（コサイエアフタースクール 7歳）

友達に上手！と言われて自信をめっちゃ持てた！友達も上手で協力できたことが嬉しかった。自信作は一個目の作品クマノミで、難しかったのは4個目の作品ヒトデ。（学研ココファン 9歳）

■学童担当者の感想（アンケートより抜粋）

- 海の生き物を守るため自分たちが出来る事を改めて学ぶことが出来たと思います。ひとつの海をみんなで作り上げる為に、個々で意見を出し合って作成し協力し合っていました。同じ海でも子どもたちが感じている・見ているものは様々で、私も勉強になり今後の保育にも役立てたいと思いました。来年こそは海にいけたらと思っています。子どもたちにも、思いっきり海を感じてもらいたいです。（HirakuKids大井町校 小野さま）
- 児童が、海のテーマのもと、粘土制作をととても楽しんでいました。長い時間、集中して作る姿に驚きました。図鑑を見ながら、造形的な工夫をこらし、海の世界を楽しめました。海に行ったことがない児童がいたのも、今時ですね。コロナ禍で、出かけることができない状況ですので、このような企画で楽しませていただき大変感謝しております。ありがとうございました。（ココファンキッズ八王子）
- みんなで遠足などできない現状で、室内で海を感じられるイベントに参加できたことは、子ども達にとって貴重な機会だったと思います。特に色付き紙粘土で海の生物を作る作業では、子どもたちが時間がどれほどあっても足りないというくらい熱心になっていて、見ているこちらも楽しくなりました。あの日以来紙粘土が流行中です。ぜひ次回のイベントも宜しくお願い致します。（大豆戸すこやか学童クラブ）

ー5.付属資料ー 学童施設での海プログラムの集合写真

➤ 学童施設での体験プログラム

①8月11日 大豆戸すこやかキッズ



キラキラ輝いている、珍しい深海の生き物、大きな生き物の海

②8月12日 コサイエアフタースクール



幸せな海、可愛い魚の海、
いろんな種類の魚がいる海

③8月17日 明光キッズ



優しくて皆が楽しめる、賑やかで平和な海

④8月18日 HirakuKids大井町



キラキラの
大きな魚のいる海

⑤8月21日 HirakuKids大井町



きれいな魚が
いっぱいいる海

⑥8月21日 ココファンキッズ



4. メディア露出

➤ テレビ東京での放送



➤ テレビ神奈川「カナガワニ」での放送



■ 学童ブログでの紹介



小学校 > 放課後Blog > SDGs, SDG s, アフター, アフターニスクール, スペシャル, スペシャルプログラム, 夏休み, 海プロ >

【スペシャル】海のおもいで創造プロジェクト

2020年9月11日

夏休み最後のスペシャルプログラムは海と人とのつながりを学ぶ

★『海プロ』 今年は実施できないと思っていたのですが、6年生にとっては最後の夏休み

日本財団さんと鎌倉マリーナさんにご協力いただき特別に実施できました。

8時に藤沢駅に集合、鎌倉駅からバスに乗って15分…材木座海岸へ

今日は東京の自由学園のお友だちと合流しての海のプログラム！

みんないっしょに海のこといっぱい学びました！



どうしたら海ではやく走れるの？

ライフガードのお兄さんがわかりやすくレクチャーしてくれました。

湘南学園アフタースクール ホームページにて

https://www.shogak.ac.jp/elementary/after_blog/93317

今まで海では顔を付けることさえ苦手だった子もいつの間にかプカプカ出来る！



お昼休みはみんなで海の生物発見したり砂遊びもいっぱいしました。

それだけじゃない…マイクロチップを集めてSDGs！さすが湘南学園の子どもたち…



お昼でパワーチャージをしたらニッパーボード体験！みんなの緊張もほぐれ、本当に楽しそう！



朝の顔よりぐっと自信に満ち溢れていました…



学校の違うお友達同士が一緒に行うプログラム。初めはお互い緊張していましたが

最後お別れの時には、自分たちの学校にお互いに遊びに来るよう誘い合って

「また絶対あそぼうね」と約束…！



主催：日本財団「海と日本PROJECT」

子どもたちの日焼けした笑顔がまぶしすぎる…

最高の夏休み…

■学童SNSでの紹介



#海 #ニッパーボード #楽しい #キンダラー #イベント



いいね! コメントする シェア



8月19日、第2回目の海のおもいで創造プロジェクトに参加させていただきました。改めて、ご協力いただきました方々には深く感謝申し上げます。子供たちが、海について知識を深める貴重な時間となりました。

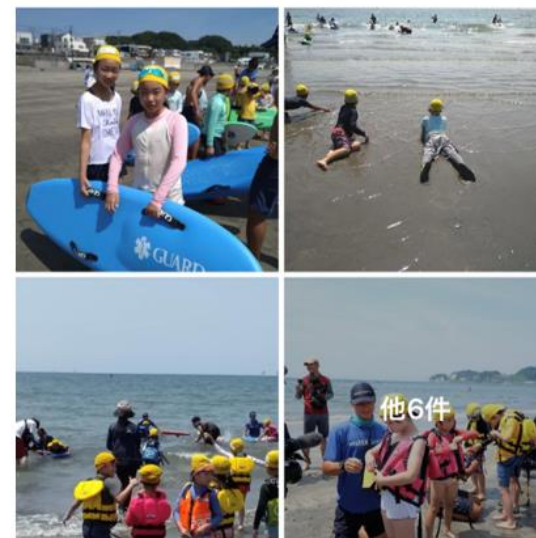
#学童保育 #民間学童 #学童晴れ間 #小学生 #鎌倉市 #日本財団 #いこーよ #鎌倉マリーナ #海 #ライフセーバー #ライフジャケット #ボディボード #夏休み #思い出 #テレビ神奈川 #テレビ東京



海のおもいで創造プロジェクトの報告です！2日間とも大きな流れは変わらず、午前プログラムが違いました。ライフジャケットの装着の仕方、海に慣れる、海について知る、ボディボードの練習、ボディボードでのレース、最後に学んだことをアウトプットする、というプログラムでした。ただ海遊びをするだけでなく、海の恐ろしさや、海の汚染などについても学ぶことができました。参加者全員が、器用にボディボードを乗りこなす姿は頼もしさすら感じました。

当日は、テレビ神奈川、BSテレ東さんの取材もあり、緊張気味にインタビューに答えていました。

海なし県に育った私には、とても魅力的な企画でした。また機会あったらぜひ参加したいです。



■学童ブログ等での紹介

特定非営利活動法人すこやかサポート横浜
大豆戸すこやか学童クラブ

2020年 夏休みイベント 海と日本プロジェクト

2020年8月24日

今年の夏休みは鎌倉の海に出掛ける予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり室内で海のイベントになりました！

日本財団主催の「海と日本プロジェクト」というもので、今日世界の海は乱獲やプラスチックゴミなどによって環境破壊が進んでいます。そんな海の状況を変えるべく、海の現状と将来の海がどうなっていてほしいかを子どもたちと一緒に考えるものです。

今回は、子どもたちが主体となってブラックボードの上に将来なっていてほしい海を表現しました♪ それぞれのイメージを織り込んだので、海が多彩な生き物で埋め尽くされました！



大豆戸すこやか学童クラブ ホームページにて

<https://www.kouhokugakudou.net/album/view/21>



■海のおもいでWEBサイトを制作

プロジェクトの趣旨、参加学童一覧を掲載



たくさんの子供たちに海のおい出をつくらせたい！

「ひとりでも多くの子供たちに楽しい海のおい出をつくらせたい」その思いをカタチにしました。海に生まれ、海とともに文化を育んで来た日本。しかし近年、海に行ったことがない子供が増え続けており、その多くは保護者の負担が大ききことが原因となっています。

子供たちだけで安全に楽しめる仕組みを作りました

ライフセーバーやネイチャーガイドなどの専門家と一緒に、安全に楽しく海を体験できるプログラムを構築しました。学童の皆様にご参加いただくことで、保護者の負担を減らし、より多くの子供たちに機会を与えられると考えています。



カラダぜんぶで海と遊ぼう！とおきの海体験を！

五感をフルに使いながら海の中で過ごす時間。そこで得られる経験は、生きる力を学ぶ教科書そのものではないです。海遊びに必要な知識、技術の習得からスタートし、その先に広がる大興奮へ飛び出します。さあ、どんな特別な体験が待っているのでしょうか。

安全面の5つのポイント

1. 離岸距離の近い安全なビーチ
2. 体験と水分補給時間も含めたスケジュール
3. 新設ス・体験・食事ができる屋内施設を用意
4. 参加者全員にライフジャケットを用意
5. ライフセーバーによる十分な見守り活動

いこーよオリジナル！4大特典！

1. プロのライフセーバーから水に対する機軸を学べます！
2. 体験したことをまとめれば、夏の自由研究も終わるかも！
3. 学童専用、学童解散后から負担が少なく安心。
4. 昼食付で当日の準備もラクラク ※個別のアレルギー対応は別途ご相談ください

※本プロジェクトは日本財団「海と日本プロジェクト」の一環としての取り組みです。

多くの学童スクールに参加いただいています！












海にいこーよでは来年度以降も「海のおもいで創造プロジェクト」を行う予定です。参加を検討したい学童さまはこちらにご連絡ください。

 **03-5435-1055**
 10:00-18:00
AM

[参加学童一覧 >](#)

■海のおもいでWEBサイトを制作

各日程の様子、学童からのコメントを掲載



●学童一覧●



天オキッズクラブ



フューチャーテーブル①



晴れ晴



明光キッズ（大泉学園、光が丘、平和台駅前）



キンダリーインターナショナル（藤が丘、明光）



明光キッズ（吉祥井公園、練馬）



大豆アオキッズクラブ



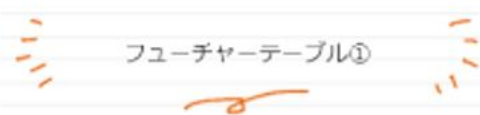
フューチャーテーブル②



明光キッズ（藤が丘）、JSmileKids（世田谷希聖ヶ丘）、京奈キッズファン（平和島）



NPOアフタースクール（聖心女子学院）



date!

2020/08/03 in 鎌倉マリーナ
 天気：晴れ
 最高気温：32度
 実施アクティビティ：海の中をかけっこ、海の上でプカプカ、ニッパーボード

学童からのコメント

この活動を通して、海の大切さや環境意識の価値がありました。海は最高の1日を通じて、今後の成長過程に必ず役立つと思いました。ライフセーバーの方々が指導を丁寧してくれるので、安全に子どもを預けることができました。